

延喜式内社
和歌山城の氏神
吉宗公拾い親神社

刺田比古神社 岡の宮

祭神 道臣命
大伴佐比古

鎮座 和歌山市片岡町二丁目九(和歌山城岡口門南入る)

◇岡の宮は、八代將軍 吉宗公 拾い親の神社です。

徳川幕府八代將軍 吉宗は、厄年の子として誕生と同時に捨てられました。このとき、拾い親となったのが刺田比古神社の宮司でした。

☆拾い親とは

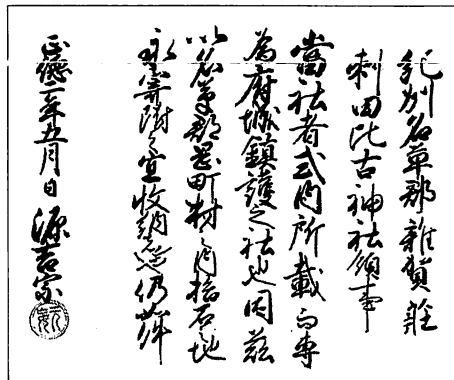
当時、厄年に生まれた子どもは、捨て子にすれば丈夫に育つという風習がありました。そのため、吉宗公も誕生と同時に、お城の南西隅にある扇の芝(和歌山城追回門)に捨てられました。これを岡の宮(刺田比古神社)の宮司岡本長諄が箕(みの)と箒(ほうき)で拾ってきたことから拾い親とされています。

☆吉宗公の崇敬

吉宗公は自分を拾った岡の宮に感謝され、産土神(うぶすなかみ)として崇敬し、紀州藩主になってから神田を寄進しています。

また、將軍になってからも二百石、黄金装飾の太刀(国宝)、神馬を献上し、国家安泰の祈願社として、一万度のお祓いをするよう命じられました。

宮司 岡本長刻(おかもとながとき)の代からは、三年に一度江戸で將軍に拝謁する習わしになったとされています。



吉宗公の社領寄進状

◇岡の宮が、出世・開運・厄除け・交通安全の神社といわれるのは

吉宗公が厄年で誕生され、岡の宮に拾われたことで厄をはらい、その後強運を得て、異例の出世をされたことから、出世・開運・厄除けの神社とされています。

また、祭神、大伴道臣命が神武天皇の道案内をされたことから、交通安全祈願神社と言われています。

お問い合わせ TEL 073-422-6576
FAX 073-422-0814
mail sasutahiko@gmail.com
HP <http://okanomiya.com/>